

# 僕らも！

「楽しい。化石を見つけた年度い」と話していた。発掘体験はGW期間は

午前十一時、午後一時半、まで）は午前十一時から同三時からの計三回。午後一時半からの回のみ予約ができるが大半は定員に達している。五月一、二日と七日以降（六月末七。

時間を忘れて楽しんでいました。

## 子供みこしで商売繁盛願う

鯖江・漆器祭り

鯖江市河和田町で二十九日、恒例の漆器祭りが開かれた。子供たちがみこしをかついで区内を練



魚つかみに興じる子供たち＝29日、鯖江市大野町

## 魚つかみ捕りに歓声

鯖江・片上で「春たんば」

鯖江市片上地区の春祭りで「鯖江かたかみ春たんば」（福井新聞社後援）は二十九日、片上公民館の魚つかみ捕りや文殊山

登山など多彩な催しを楽しんだ。

祭りのメイン「田んぼリンピック」では、田植え体験や魚つかみ捕り、そりりレーが行われた。このうち、魚のつかみ捕りでは地元小学生らがニジマスとウナギを追い求めて水田を縦横無尽にかつ歩。器用に何匹もつかまえる子供がいる一方、何もつかめず泣き出す子供もいた。

ジャンボ巻きずし作りや多彩なステージイベントも繰り広げられた。同地区名物のタニシの田楽などが販売された模擬店には長蛇の列ができた。文殊山登山や開催二十回を記念したもちまき、資料展もあり、訪れた人は



みこしを担いで町内を練り歩く子供＝29日、鯖江市河和田町

り歩き、商売繁盛を願った。

祭りは漆を採取するための出稼ぎの間、子供たちの寂しさを和らげようと昭和初期に始まった。子供みこしがメイン。少